安心・安全で信頼できる美しい学校づくりをめざして

学校だより はんたましい

西原町立坂田小学校
令和７年１月８日
校　長　松川　邦昭
児童数　８３５名

1月 January

新年あけまして おめでとうございます

二学期後半スタート！チャレンジの年に

ご家族おそろいでさわやかな新年を迎えられた事と思います。旧年中は、本校の学校教育活動に多大な御理解と御協力を賜り誠に感謝申し上げます。

昨年は、運動会、坂田金太郎祭り、学習発表会、PTA行事等に多数足をお運びいただき、多くの励ましのお言葉を頂きありがとうございました。坂田小学校の教育を温かく見守りご協力頂いたことに深く感謝致します。本年も教職員一同心ひとつに頑張って参ります。

今週の一月六日から二学期後半が始まりました。子どもたちの元気な笑顔が校庭に戻り学校も活気づいてきました。二学期後半は、主に学習内容のまとめ、学年のまとめにもなります。今年も昨年同様、保護者の皆様、地域の皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。さて、新しい年を迎え、新年の抱負を胸に元気よく登校してきた子どもたち。一年の初めにあたり子どもたちが、夢や希望・目標を実現するために具体的な行動を継続していくことを大切にしてほしいと願います。子どもたちが、自分の良さに気づき、可能性を信じ、自分の達成すべき目標に向かって努力できるよう精一杯応援していきたいと思います。

最後に、心温まる素敵な詩をご紹介します。

へいわってだいすき

一年三組　さかたしょうがっこう
あらかきあんみ

へいわってしってるよ。
じんせいがしあわせ。
せんそうがないから。
かぞくとみんなでいつもいられるからしあわせ。
おふろはきもちいい。
自分のおふとんでねられるのがきもちいい。
ごうかなごはんがでるのがおいしい。
みんなであそぶのがだいすき。
おかあさんにぎゅっとしてもらうのがだいすき。
だから、へいわってすてきだね。

坂田っ子が目指す児童像

二学期後半は、授業日数（登校日数）が、４８日の短い学期です。学習の総まとめや進級、進学の準備をする大切な学期ですが、一月は「行く」、二月は「逃げる」、三月は「去る」と言われるように時はあっという間に過ぎ去って終わってしまいます。三月は、卒業式、修了式の大きな行事も計画しており、一日一日の時間がこれまでにも増して貴重な時間となってきます。

学校では、二学期後半のめあてを持たせるとともに、次のような子どもを育てることを目標に教育活動を進めていきたいと思います。

１　落ち着いて生活ができる子
◎ 早寝、早起きで早めの登校で時間にゆとりを持つことができる。

２　思いやりがあり、明るい対応ができる子
◎ 進んであいさつをする。しっかり返事する。きれいな言葉遣い
◎ 朝のボランティア活動へ参加する。
◎ 相手に親切にする。協力する。感謝する。

３　着実に歩み、努力する子
◎ 話をしっかり聞く。学習用具の準備ができる。
◎ 最後まで粘り強く課題に取り組む。（家庭学習、読書等）

坂田っ子の活躍を表彰！

来月の２月１日「西原町教育の日」において、教育委員会より善行を行った児童や団体、そして、文化活動で優良な成績を収めた個人、団体の表彰が決定しました。

日頃の功績が顕著でその活躍や功績が多くの児童の模範となりました。その頑張りは、推奨に値すると称賛され、さわふじ未来ホールにて表彰されます。おめでとうございます。

頑張った皆さんに大きな拍手！

知念　梨乃（りの）	６年１組	善行賞　個人
平良　奈々（なな）	６年２組	善行賞　個人
武富　小牧（こまき）	６年３組	善行賞　個人
幸地　和奏（わかな）	６年４組	善行賞　個人
児童会役員	６年生 10 名	善行賞　団体
久場　奏大（かなた）	２年１組	全琉作文コンクール最優秀
音楽部		沖縄県合唱金賞 九州合唱特金賞

子どもは親から学び、親は子どもから学ぶ

ドロシーローノルト「いちばん大切なこと」より

子どもは親をお手本にして育ちます。子どもは生まれた瞬間から、それどころか生まれる前でさえ、私たち親から学びとっているのです。子どもの手本である以上、最良の自分を子どもに見せてあげたいものです。私たち親は、子どもからも学ぶことができます。親の愛は、３つの柱で支えられています。子どもを受け入れ、認め、思いやるという３つの柱です。自分を無条件に受け入れ、良いところを受け入れ、深く思う親の愛に育まれて、子どもは自分が好きになり、人を愛することのできる人間になっていきます。そして、親もまた、子どもを愛し、子どもを育て学ぶ中で、人生の喜びを知るのです。子どもは、私たち親に 幸せとは何かを誰よりも深く教えてくれるのです。

子どもが親から学ぶことは、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけることが挙げられます。子どもたちは成長段階により、物事を吸収する量が変わってきます。子どもたちから受ける刺激は、脳の活性化に繋がっているのです。また、子どもたちの行動の一つひとつは、とても興味深いものです。何をどのように感じ、表現しているのかを見ていると、子どもの個性がわかります。子どもたちは、生活する環境によって子ども自身が形成されていきます。その成長を見ている親御さんは、子どもさんの生き方に学ぶ点が多くあります。日常という環境は、親御さんが作り上げている場面が多いこと。それは親御さん中心として生活は進むからです。子どもたちが、どのような行動をとるかはこれからの生活が参考にもなることが多いものです。大人が、子どもから学ぶという姿勢を持つことは大切なことです。